

広島大学病院

Hiroshima University Hospital News

No. 30
2013. 10

ニュース



2013年9月20日
新診療棟が
オープンしました

- 診療棟開院に当たって
- フロアマップ
- 診療棟のご紹介
- Q&A 受付から支払いまで
- ニュースアップ
記念式典
オブジェ除幕
AED講習体験会
- 記念講演会から
黒川清氏「日本の課題、そして行くへ」
- は(歯)笑がお写真コンテスト募集
- 催しのご案内

ご自由にお持ち帰りください。



診療棟開院に 当たって

病院長 茶山 一彰

2010年2月に着工しました診療棟(地上5階、地下1階)の開院を迎え、計画段階から竣工、開院に至る今日まで多大なるご支援・ご協力をいただきました皆様方に、心から感謝の言葉を申し上げます。

広島大学病院は、特定機能病院として「高度の医療の提供」、「高度の医療技術の開発及び評価」及び「高度の医療に関する研修」の3つの機能を備えた病院として認定されています。2004年の法人化と同時に病院長に就任した浅原利正現学長、後を引き継いだ越智光夫前病院長の時代から、広島大学病院はこれらの役割を果たす点で全国の大学病院の中でも高く評価されてきました。診療棟新築の目的はこれらの機能をより充実して遂行するとともに、利用する患者にとってわかりやすく、利用しやすいものになるように企画され、建設されました。この診療棟の完成に伴って、手術室が増室され、先進医療機器も充実、さらに、医科・歯科の診療棟も1つになりました。スポーツ医科学センター、未来医療センター(再生医療、細胞治療)、緩和ケア外来、といった近年需要が増している分野の機能強化も目指しています。

新しく完成した診療棟は、グリーンホスピタルをコンセプトに、屋上庭園には花壇やハーブ園、遊歩道を配置した癒しの空間を創出し、壁面緑化や光や水といった自然エネルギーの利用も進め、また棟内にグリーン(植物)を連想させるアートの配置も行いました。

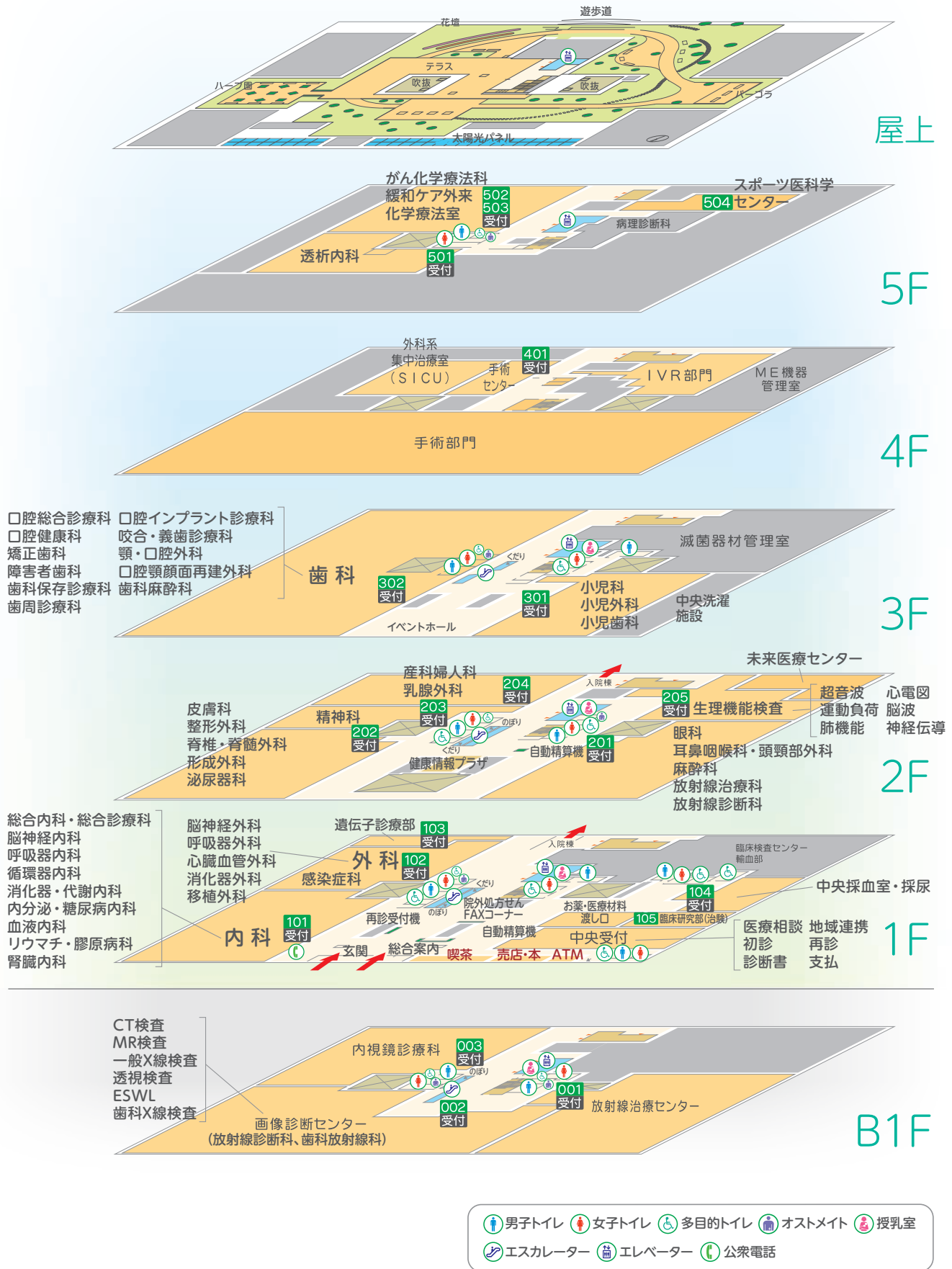
こうした恵まれた環境の中で、高い志をもった医療人の育成を推し進めて行きます。またさらに新しい医療技術の開発に努めていきたいと考えています。

このように今後広島大学病院は、新しい診療棟の完成を機に特定機能病院としての機能をいっそう発展させるよう、職員一同全力を尽くして行く所存です。さらなる改善のため、利用者、来訪者の皆様の忌憚のない声をお聞かせ願いたく思います。今後も広島大学病院に一層のご指導・ご鞭撻をいただきますよう、何卒宜しく願いいたします。

病院整備 方針

- ・ 患者さんをはじめとする利用者に優しい施設
- ・ 病院機能の円滑化・運営機能の向上に寄与できる施設
- ・ 高度先進医療及び臨床教育の充実を支援することのできる施設
- ・ 災害時の医療拠点としての防災機能を確保可能な施設(免震構造等)
- ・ 効率的・効果的な運営をサポートする施設

診療棟フロアマップ



広島大学病院 診療棟

グリーン・ホスピタル

医科と歯科が1つに

医科と歯科の外来・診療部門を1つにした新しい診療棟が9月20日オープンしました。基本コンセプトはGreen Hospital(グリーン・ホスピタル)。患者さんにとってより良い、潤いのある病院を目指してまいります。

主な外来は1～3階

主な外来診療部門を1～3階にまとめています。

1階には内科、外科など、2階には眼科、皮膚科、整形外科、産科婦人科、耳鼻咽喉科など、3階は小児科、小児外科、小児歯科の小児診療部門と歯科部門を置いています。



正面玄関ロビー(1F)



診察室は個室(1F)



小児診療部門(3F)

Q & A 受付から支払いまでの流れ



Q 初診の場合は。

☞ 1階正面玄関に入って右手にある記載台で**診療申込書**にご記入のうえ、中央受付の「初診」窓口にお越しください。受付票と一緒に呼出受信機をお貸しします。

☞ 他の医療機関からの紹介で事前に予約されている方は「地域連携」窓口にお越しください。

Q. 再診の場合は。

☞ 予約のある方は1階正面玄関を入ったところにある再診受付機に診察券を通します。**再診受付機から受付票と呼出受信機が自動的に出てきます**ので忘れずにお取りください。

☞ 予約のない方や予約があっても診察券を忘れた方は、**再診申込書**にご記入の上、中央受付の「再診」窓口にお越しください。受付票と一緒に呼出受信機をお貸しします。

Q. 初診・再診受付を済ませたら。

受付票と呼出受信機を持って各診療科受付においでいただき、受付票は診療科受付に出してください。診療科受付は幾つかの科をまとめたブロック受付になっています。**呼出受信機は必ずご携帯**ください。

Q. どこで保険証を確認するのですか。

☞ 予約のある方は**各診療科受付**にご提示ください。

診療機能のアップ

化学療法室では、抗がん剤治療用ベッドやチェアを従来の14台から28台に倍増し、同じ5階フロアにあるがん化学療法科、緩和ケア外来と連携した診療を進めています。手術センター(4階)は手術室が13室から17室に増えるほか、術後専用の外科系集中治療室(SICU)を新たに6床設けます。中国四国地方で初めてのスポーツ医科学センターも開設しました。



化学療法室(5F)



緊急手術も可能な血管造影室(4F)



スポーツ医科学センター(5F)

人と環境にやさしく

患者さんのプライバシーを重視して医科の診察室は個室に、歯科もチェアごとに仕切りを設けています。2カ所の「光庭」から自然の光を建物内に導きます。約40種の植物が彩る屋上庭園には遊歩道やベンチを設置。東西の壁面にも常緑つる性樹木のヘデラ(アイビー)を配し、省エネルギーと癒やしの空間づくりに一役買っています。



森をイメージしたMR室(B1F)



歯科診療室にも間仕切り(3F)



草花が彩る屋上庭園

☞ 初診の方や予約のない方は1階中央受付の「初診」窓口・「再診」窓口にご提示ください。

Q. 診療の時間が来たらどんなふうに呼ばれるのですか。

- ☞ 順番が近づきましたら、呼出受信機に振動と画面表示でご案内します。オレンジ色の「確認」ボタンを押すと、振動が止まります。表示された診察室の近くでお待ちください。
- ☞ 順番になりましたら音や振動と画面表示でお知らせしますので、「確認」ボタンを押して診察室にお入りください。

Q. 建物の外に出ていても呼び出しはできますか。

- ☞ 呼出受信機の電波が届くのは診療棟(屋上を含む)と入院棟の中だけです。圏外に持ち出すとピピピという大きな警告音

が鳴ります。やむを得ない理由で一時的に外に出られる場合は呼出受信機を各受付窓口にお預けください。

Q. 料金の計算や支払いの方法は。

- ☞ **診療科受付で料金計算**を行います。診察後は、診療科受付にお立ち寄りください。料金計算が終了しましたら呼出受信機に音や振動と画面表示でご案内します。
- ☞ 支払いについては**1階の自動精算機と2階の自動精算機(カード専用)**をご利用いただくか、1階中央受付の「支払」窓口にお越しください。自動精算機での支払いは、**呼出受信機を自動精算機横の回収機に入れていただきますと、支払い手続きが始まります。**
- ☞ 「支払」窓口で支払われる方は窓口で呼出受信機をお返しください。

ニュースアップ

「病院新診療棟開院記念式典」が行われました

広島大学病院の診療棟オープンを前にした9月1日、開院記念式典が学内外の関係者約200人の出席する中で行われました。

式典に先立ち診療棟の玄関でテープカット。文部科学省大臣官房の関靖直文教施設企画部長、広島県知事代理の笠松淳也広島県健康福祉局長、一般財団法人緑風会の西村隆宏前理事長と戸澤滋憲理事長、浅原利正広島大学長、広島大学病院の越智光夫前病院長、茶山一彰病院長、栗原英見主席副病院長の8人が、はさみを入れて開院を祝いました。

続いて正面エントランスに掲げられた日本画家小倉遊亀の代表作「径(こみち)」の陶板をはじめ、ご寄贈いただいた書画などの除幕式の後、施設を見学しました。

記念式典は広島市中区のホテルに会場を移して行われ、湯崎英彦県知事、松井一實広島市長にも駆けつけていただきました。

茶山病院長は「新しい診療棟の完成を機に、特定機能病院としての機能を一層発展させるとともに、高度先進医療を提供する地域の中核的医療機関として社会のニーズに応じた医療を提供できるよう職員一同全力を尽くします」と式辞を述べました。また浅原学長は「地域の医療機関との円滑な連携体制の下に、拠点医療機関としての機能を果たし、将来アジアのメディカルセンターの役割を担う施設として整備発展を目指して取り組みを進めてまいります」とあいさつしました。

この後、政策研究大学院大学の黒川清アカデミックフェローによる「日本の課題、そして行くへ」と題する記念講演会を行いました。



浅原学長(左から4人目)らによるテープカット



開院記念式典で式辞を述べる茶山病院長



診療棟前のオブジェが除幕されました

診療棟の開院を記念したオブジェ Four Seasons Tree(四季の木)が霞キャンパス入口に設置され、8月30日に除幕式をしました。

一般財団法人緑風会(戸澤滋憲理事長)から寄贈されたもので、診療棟の基本コンセプトである「グリーン・ホスピタル」に基づいて、もみの木をモチーフにした八角錐の形をしています。高さ7メートル、最大直径4.7メートル。強化ガラス製の8つの面には広島の四季の風景や草花が描かれ、夜間は内部のLEDで照らされます。

式では戸澤理事長、デザインを担当した広島大学大学院教育学研究科の一畝田徹准教授、茶山一彰病院長、越智光夫前病院長の4人が除幕しました。広島大学病院の新しいシンボルとして、目を楽しませてくれそうです。

健康サポートフェアで初のAED講習会

広島大学病院の協力によるAED講習体験会が9月14、15の両日、「健康サポートフェア2013」のイベントとして開催されました。

広島グリーンアリーナ(広島中区)を会場に行われる健康サポートフェアでのAED講習は初めて。そろいのTシャツを着た医師・歯科医師・看護師、学生たちがインストラクターを務め、訪れた市民に心肺蘇生法やAEDの実地体験してもらいました。

2日間で約500人が体験。特設ブースの前では一時、「20分待ち」の行列ができるなど人気を集めました。広島市佐伯区の主婦(58)は「今までやったことがないので、ぜひ体験してみたいと思っていました。意外に力が要りますね」と息を弾ませていました。





診療棟開院記念講演会から

「日本の課題、 そして行くへ」

政策研究大学院大学アカデミックフェロー・教授

黒川 清 氏

世界にはグローバリゼーションの波が押し寄せている。その背景に、近年の科学技術の進歩がもたらした人口の大爆発がある。世界の人口はこの100年間で64億人、今は70億人と4倍に膨らんだ。

1991年に冷戦が終わり、インターネットなどの普及によって、より多くの人々が南北格差や飢餓、貧困といった問題を認識するようになった。とりわけこの数年、世界は分断化されながら脆弱な状態になっている。

最近、「レジリエンス」（跳ね返す力）ということがいわれる。事故は必ず起こるのだから、強力な国家・組織を作ることよりも、起きた時にどう反応するかという方が重要。絶対安全と言ってきた原発の事故を見れば一目瞭然だ。「安全・安心」に代わって「リスク」という言葉もよく出てくる。計算されたリスクがどのくらいあるのか、透明性をもってみんなで共有しよう。

これからの20年、世界は今まで経験したことがないような大転換期を迎えると思う。私たちが当たり前だと思っていた社会のあり方、政府や企業の統治のあり方、働き方といった産業革命以来のシステムが変革を迫られている。

「オリジナルより良くしたい」「パーフェクトに磨きをかけたい」というのは、日本人のいい特性だ。日本人の弱さを認識している人は少ないと思う。それは個人として外で暮らしてみないと、弱点はなかなか分からないものだ。若い人にはどんどん海外に出て、日本のいいところ、弱いところを認識してもらいたい。

今からは地域の人たちがほしいものを提供できるかが勝負になる。病院も同じだ。ハイテクの素晴らしい病院だから来てくださいというのではなく、これを基幹にしながら地域にどんどん出ていかなければうまくいかないだろう。提供側の論理ではなく、現場のニーズをとらえ、それを引っ張っていく「プル」の力が求められる。

広島大学病院の新しい役割も、腕のいい医師の養成を目指すとともに、地域に出ていくことだと思う。財政困難の時だが、プライマリケアをやりたい若い医師はたくさんいるので、それを中心に医療を供給するシステムをどう築いていけるか。

先進国は高齢社会、所得の不均衡、生活習慣病など慢性疾患、公的財源の減少という共通する医療政策の課題を抱えている。これを克服するためには新しいシステムを地域・地域で思い切ってやってみることだ。ヒロシマを継承しながら住民の満足度の高いシステムをつくり、地域から海外に発信してもらいたい。



【くろかわ・きよし】1936年東京生まれ。東大医学部卒。69年に渡米し、79年カリフォルニア大ロサンゼルス校(UCLA)教授。83年に帰国後、東大医学部教授、東海大医学部長、日本学術会議会長、内閣特別顧問などを歴任。国会の東京電力福島原発事故調査委員会委員長を務めた。

“は(歯)笑がお”写真コンテスト2013を開催します

白い歯がこぼれる笑顔は元気の証しです。

広島大学病院は11月8～14日の「いい歯の日週間」に合わせて“は笑がお”写真コンテスト2013を実施します。

自慢の歯(入歯でもOK)がのぞく、いっばいの笑顔をお寄せください。

テーマ つながって みんなで作る みんなの“は(歯)笑がお”

募集内容

- 画像データ(JPEG形式、容量2MB以内)またはプリント(A4サイズまたは四つ切り)でご応募ください。未発表・未公開の作品に限ります。
- 作品の展示、病院ニュース・ホームページへの掲載などの使用権は当院に属します。
- 応募に際しては必ず、写っているご本人の承諾を得てください。
- お名前、年齢と郵便番号、住所、連絡先電話番号を明記してください。

締め切り

2013年10月21日(月)

審査・発表

作品は診療棟イベントホールに展示し、患者さんの投票結果を踏まえて審査委員会が最優秀賞1点、優秀賞2点、入選5点、最多得票賞1点を決定します。11月2日(土)に表彰式を行い、ホームページ、病院ニュース等でお知らせします。

賞品

優秀作品には副賞を贈ります。また応募者全員に参加賞を贈呈します。

送付先

(Eメールの場合) perio@hiroshima-u.ac.jp

(郵送の場合) 〒734-8553広島市南区霞1-2-3、広島大学歯周病態学研究室「写真コンテスト」係

問い合わせ

広島大学病院 特命広報・調査担当

電話:082-257-5418 ファックス:082-251-1360

Eメール:byo-toku-chousa@office.hiroshima-u.ac.jp



昨年の最優秀賞に選ばれた黒田景子さんの作品

催しのご案内

(2013年10月～12月)

がんと歩む人を支える 患者サロン

場所：臨床管理棟(旧医科外来棟)
3階中会議室

緩和ケアについて

10月16日(水) 13:30～14:30 講師：緩和ケアチーム医師 小早川 誠

抗がん剤の基礎

11月21日(木) 13:30～14:30 講師：薬剤師 石田 聖

がんと遺伝子について

12月19日(木) 13:30～14:30 講師：遺伝子診療部医師 兵頭 麻希

お問い合わせ：広島大学病院 がん医療相談室 082-257-1525

肝臓病教室

場所：臨床管理棟
(旧医科外来棟)
3階中会議室

10月22日(火) 15:00～16:00

テーマ 「肝硬変について」

肝硬変の薬物治療と栄養療法

講師：消化器代謝内科医師 平松 憲

肝硬変の食事療法～考えよう栄養～

講師：栄養士 三村 唯

12月24日(火) 15:00～16:00

テーマ 「肝がんについて」

お問い合わせ：広島大学病院 肝疾患相談室
082-257-1541

第5回がん診療連携拠点病院共催市民講演会

「今知っておきたい! がんと免疫・薬物療法・医療費のお話し」

10月26日(土) 13:30～15:30 場所：広島県民文化センター

「がん免疫療法～その現状と未来」

広島大学原爆放射線医学研究所 血液・腫瘍内科研究分野教授 一戸 辰夫

「がんの患者さん・ご家族を支えるための情報～医療費や相談支援センターのお話し」

県立広島病院 地域連携センター緩和ケア認定看護師 佐々木 涼子

「大切な患者さんに進化する薬物療法を納得して受けていただくためのABC」

広島市立安佐市民病院 呼吸器内科部長・腫瘍内科主任部長 北口 聡一

参加のお申し込みは10月18日(金)まで

お問い合わせ：広島赤十字・原爆病院 総合相談支援センター がん相談室 082-241-3111(内線3223)